

# 保健室便り

# 変異株 XBB.I.5

## 「XBB.1.5」

オミクロン株からの派生型(亜系統)のウイルスです。

BJ. I 株と BM. I. I. I 株が同時に感染し、感染した細胞の中で遺伝子が混ざり合ってできた組み換え体のウイルスです。

No.130 2023 年 I 月 桃山学院大学 保健室

### XBB.1.5 の特徴

- 免疫をすり抜ける能力が高く、感染力が強いと考えられます。
- 再感染率が高く、一度コロナに罹患した人も再感染します。 CDC の報告によると、2022 年 12 月 30 日の時点で、アメリカの COVID-19 の 40%以上が XBB.1.5 に置き換わり、前週の 21.7%から急増しています。今後、日本でも集団感染を含めて感染拡大が懸念されます。
- 症状は、発熱、咳、のどの痛み、鼻水、倦怠感、筋肉痛・関節痛、頭痛、消化器症状等、従来の症状と同じで変化なく、重症化しやすいというデータはありません。しかし、症状が多岐にわたり、個人差があります。
- 年齢やワクチンの接種歴によって症状の軽い、重いは大きく異なります。
- ➤ Long COVID は軽症、重症に関係なく快復した後、倦怠感や咳、思考力、集中力の低下などの症状が少なくとも 2 か月以上継続し、発症直後にみられなかった脱毛などの症状が数か月後に出現することもあります。
- → コロナに対する政策は、どの国も with コロナへと転換されています。行動制限は緩和され、気が緩みがちですが、今後も、感染防止対策は重要になります。
- ▶ 感染者が増加すると必然的に重症者も増え、医療機関がひっ迫すると一般の診療にも影響が 出ます。病気やケガで医療機関を受診することが困難となり、適切な医療を受けられなくなる可 能性があります。

インフルエンザも全国的に流行期に入りました。

インフルエンザは、3年ぶりの全国流行のため免疫のない方が多く、インフルエンザとコロナ同時 に罹ってしまうと重症化する可能性があるので注意が必要です。

- 基本的な感染防止対策
- ① 人混みや外出先の室内ではフィルター機能のあるマスクを正しく装着する。
- ② 換気をする。
- ③ ワクチンを接種する。
- ④ 会食は、感染対策を実施している店を選び、少人数で、会話時はマスクを着ける。
- ⑤ 暴飲暴食を避け、睡眠時間を十分とり自己免疫力を低下させないようにする。
- 発熱等の症状が出現すれば、外出せずなるべく 24 時間後に薬事承認された検査キットで検査 をする。

★桃山学院大学保健室のホームページトップに大阪府の新型コロナ特設サイト等リンク先案内しています。 https://www.andrew.ac.jp/hoken/hokensitu.html



不安なことやわからないことがあれば保健室までご相談ください。

保健室 TEL0725-92-7614 窓口月~金 9:10~16:40 メール:hoken@andrew.ac.jp

